

ICタグを用いた養殖ライブロックの管理システム

株式会社 シーピーファーム 八重山漁業協同組合

シーピーファームの養殖ライブロックは、人工素材だけで構成された擬岩を石垣島の海で養殖をする自然に優しい製品です。密漁による自然破壊行為を止めるためにも、天然採集ライブロックとの明確な差別化と、そのトレーサビリティが強く求められています。防水型ICタグを人造ライブロックに埋め込み、石垣島からユーザー水槽までの動きをITで管理することにより、密漁ライブロックを市場から追放できると期待されています。

Step1 養殖前の情報の書き込み ～養殖ライブロックへICタグを封入～

養殖ライブロックの原型を作る



炭酸カルシウムベースの素材で人造ライブロックの原型を製作

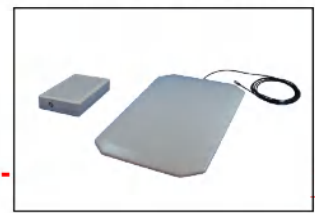
原型にコイン型ICタグを封入する



情報の書き込み

- 養殖事業者・共同事業者・養殖許可番号・養殖場所・養殖開始日

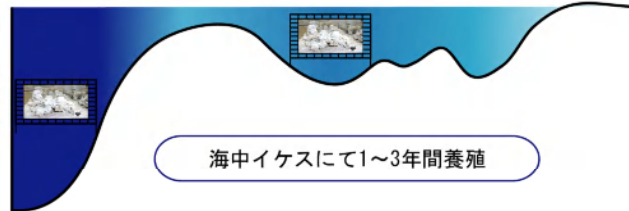
リーダーライタで個体の個別情報を書き込む



Step2 生産 ～ICタグ入り養殖ライブロックの海中養殖～



石垣島第一種特定区画漁業権漁場、特区第414号地域で養殖



海中イケスにて1～3年間養殖

情報管理システム



Step3 養殖後の情報の確認及び認定書の発行 ～ICタグ入り養殖ライブロックの水揚げ～



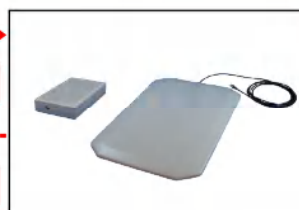
水揚げしたICタグ入り養殖ライブロック 認定書の発行

情報の読み出し

- 養殖品である事の確認

情報の書き込み

- 出荷日の書き込み



照合問い合わせ

IDナンバーの確認

Step4 販売 ～ICタグ入り養殖ライブロックの販売～



認定書付き養殖ライブロックの販売



水槽へ

ユーザー、官公庁等からの照合問い合わせ

IDナンバーの確認